

今後は、重点区域における事業の展開を図るとともに、景観計画の策定を進めていきます

今後は、「川越市歴史的風致維持向上計画」に基づき、歴史的建造物の修景や復原、歴史的風致を維持向上する取り組みへの補助などの事業を展開してきます。

また、これまで運用してきた川越市都市景観条例に併せて、景観法に基づく景観計画を策定し、歴史的風致とも調和した景観の誘導を図っていきたくと考えています。

【川越市歴史的風致維持向上計画に基づく主な事業】

旧山崎家別邸保存整備事業

豪商の別邸である建物の修復及び庭園の復原整備を行い公開する事によって町の奥行きを深める。



旧川越織物市場保存整備事業

物資の集散地ならではの交流拠点となるよう、建物の復原修理を実施する。



旧鶴川座保存整備事業

建物を整備し、催事施設として復活させ、物資の集散地を陰から支えた娯楽の復権を図る。



都市景観重要建築物の修理補助事業

都市景観重要建築物の外観に関わる修理費用に対する補助を行う。

川越氷川祭の山車行事保存会への補助

川越氷川祭の山車行事保存会の活動に対して補助を行う。

川越市川越重要伝統的建造物群保存地区に関する事業

- ・保存整備事業
- ・景観基準に基づく修景補助事業
- ・保存活動事業への補助事業
- ・川越市蔵造り資料館整備事業



建築物等の修理や修景行為に関わる費用に対する補助及び保存活動事業に寄与する団体に対して補助する事によって保存地区の歴史的風致の向上を図る。

歴史的地区環境整備街路事業

無電柱化及び石畳舗装又は美装化により、地区の景観と一体となった歴史的風致の向上を図る。



建築物の修景補助事業

伝建地区を除く川越十カ町地区の建築物・看板に対する新築・改修時の修景行為への補助を行う。

松平大和守家廟所保存整備事業

川越藩最大17万石時代の藩主の廟所として復原修理に対し補助を行う。

永島家保存整備事業

城下に残る武家地唯一の遺構として修理活用を行い地域の拠点とする。

十カ町会で平成5年より議論を続けてきた

「地区の歴史を大切にしまちづくり」が実を結び出してきました。

※ 「歴史的風致維持向上計画」の計画書と概要版は川越市ホームページより入手できます



十カ町 町並み景観通信

発行人：十カ町会専門委員会・川越市都市計画部

連絡先：川越市都市計画部都市景観課 049-224-5961（直通）

発行日：平成23年7月

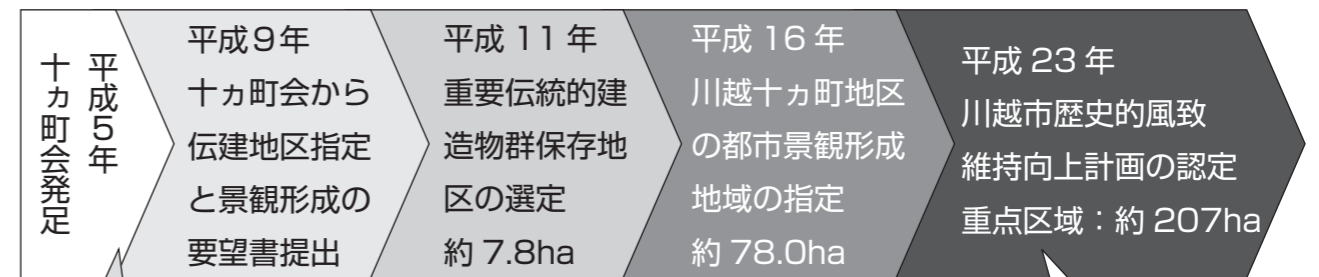
十カ町町並み景観通信は、平成5年の十カ町会景観専門委員会設置により始まり、第15号まで発行されています。

歴史的な環境を
守り育てる

「川越市歴史的風致維持向上計画」が 国の認定を受けました

この度、川越市が策定した「川越市歴史的風致維持向上計画」が国に認定されました。この計画は、川越固有の風情、情緒、たたずまいを醸し出している歴史的建造物や川越祭りをはじめとした人々の営みが一体となって作り出している良好な環境（歴史的風致）を守り育て、後世に継承することを目的としています。詳しくは次のページでご紹介します。

【十カ町の町並みづくりの展開】



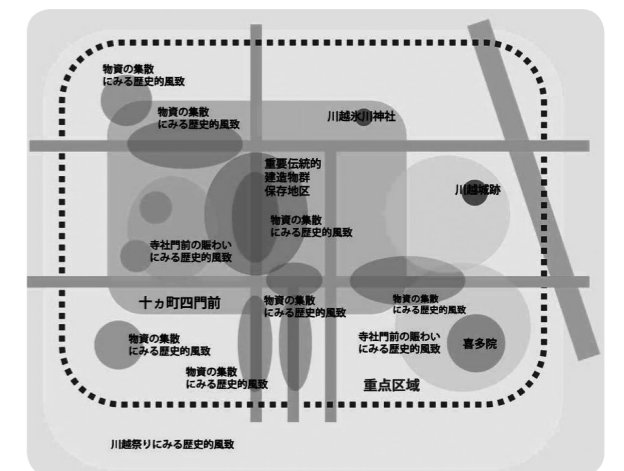
これまでの取り組み

十カ町会の取り組みをきっかけとして、重要伝統的建造物群保存地区の選定や都市景観形成地域の指定が行われてきました。



歴史的町並みを後世に残し
住み続けられる環境を大切に
にしたい（平成8年/十カ町
まちづくりアンケートにて
82%の方が回答）

具体的な施策や事業を進める重点区域の範囲は、川越の歴史的風致を端的に表す「川越祭り」「物資の集散」「寺社門前の賑わい」に着目し、川越十カ町地区を含む約207haを指定しました。



「歴史的風致維持向上計画」で維持向上していく川越市の歴史的風致

川越市は、江戸城北の守りとして、代々有力大名が配されてきました。また、新河岸川舟運により物資の集散地として小江戸と呼ばれるほどの繁栄を築き、明治26年（1893）の大火の後に蔵造りの町並みの形成に至りました。さらに、天海僧正ゆかりの喜多院をはじめとし、多くの社寺を中心として独特の門前の賑わいも創出してきました。近代以降も城下町の景観や構成に大きな変化はなく、現代に至っています。この城下町に住まう町方、職方、在方が一体となって行われる川越祭りは、蔵造りの町並みを絢爛豪華な山車が巡行する、町を挙げての一大イベントであります。これらの、ひと、まち、行事が一体となった歴史的風致は、川越の良好な市街地の環境を形成しています。

「物資の集散」にみる歴史的風致

米穀や織物を中心に発展した商業は、県内初の銀行創設に始まり、現代に至る様々な産業と、蔵造りの町並みや洋館など、それぞれの時代を象徴する歴史的建造物とともに商人町の歴史的風致を形成している。



織物市の賑わい



重要文化財大沢家住宅



蔵造りの町並み



「川越祭り」にみる歴史的風致

川越祭りは、城下町川越の総鎮守である川越氷川神社の例大祭を起源とし、江戸「天下祭」の様式や風流を今に伝える貴重な都市型祭礼として、城下町の繁栄を担った川越の人々により360年の時を超えて守られ、川越独特の特色を加えながら発展した。蔵造りの町並みを中心に、絢爛豪華な山車が辻で相対し、すれ違うさまは、見る者を圧倒する。



重要無形民俗文化財 川越氷川祭の山車行事



川越氷川神社境内



川越氷川神社本殿

「寺社門前の賑わい」にみる歴史的風致

門前界限には、料亭や劇場、さらには、菓子屋横丁など表通りとは異なる歴史的風致を醸しだす。川越のまちの奥行き感、境内の豊富な木々とともに、こうした門前の存在によって成り立っている。



喜多院界隈の町並み



菓子屋横丁



喜多院境内

「川越御家中新古屋敷絵図」